

北海道の森林

北海道は森林面積が554万ヘクタール森林率は71%と日本の森林の22%を占め、全国で一番の森林面積を誇ります。この広大で豊かな森林は、オオワシやシマフクロウ、ヒグマといった貴重な野生動物が数多く生息するだけでなく私たちの生活に必要な水や酸素の供給、土壌の保全を通しての災害の防止等人間の生活も守ってくれています。



今でこそ豊かな北海道の森林ですが、戦後には物資の不足等の理由から過度に伐採され、荒廃した時期がありました。その際、森を復活させるために先人達が植林し育てた木々が、50~60年たった現在、収穫の時期を迎えています。

人が育てた森林は、伐って、使って、植えるを繰り返すことで健全に維持されます。木は人が手を加えれば50~100年で再び利用できるまで成長する循環可能な資源です。私たちが正しく木を使い、また育てることが豊かな森林とその恵みを次世代に受け渡すことにつながるのです。



～多様で健全な森林づくりを目指す～

北海道の国有林

北海道の森林面積の55%を占める北海道国有林は、
広大かつ大変豊かな森林です。
北海道森林管理局は国民共通の財産である
この森林を、より豊かな姿で次の世代に
引き継ぐために、様々なニーズに応え
持続的な管理経営に努めています。

優れた自然環境の保全

安全・安心な暮らしを守る

獣害対策

木材の安定供給

人と森林の
ふれあいの場を供給

水源涵養機能の維持

北海道森林管理局組織所在地



士別市に森林技術・支援センター 斜里町に知床森林生態系保全センターが所在

北海道を森アゲろ！

～森林・林業・木材産業を盛り上げる様々な取組～

北海道の木の魅力をPR



HOKKAIDO
WOOD



HOKKAIDO
WOOD
北海道産木材 

北海道では、カラマツやトドマツを筆頭に多種多様な木材が産出され、様々な用途に活用されています。北海道の森林で産出された木材含む原料を、道内で加工した北海道の木材製品は「HOKKAIDO WOOD」の愛称でPRされています。生活に「HOKKAIDO WOOD」を取り入れて、北海道の森を応援してみませんか。



木とふれあい 木に学び 木と生きる

木育(もくいく)



「木育」とは北海道発祥の言葉で、子どもをはじめとするすべての人が「木とふれあい、木に学び、木と生きる」取組です。北海道では木育を普及させる専門家として「木育マイスター」を認定し、木育プログラムの企画や運営の活動を広げています。授業やイベント等で「木育」に取り組まれる際には、ぜひ「木育マイスター」をご活用ください。



森を育て、人を育てる学び舎

Hokkaido College of Northern Forestry

北海道立北の森づくり専門学院



令和2年(2020年)4月に旭川市に開校する「北海道立北の森づくり専門学院」

(略称「北森カレッジ」)では、北海道の豊かな生態系を育む森林を守り、育て、将来に引き継いでいく、100年先を見据えた森づくりを推進するという理念のもと、林業・木材産業の幅広い知識と、確かな技術を身につけ、将来的に企業などの中核を担う人材を育成します。未来の森林を守り育てる知識と技術を身につけ、全道各地域の林業・木材産業の世界に飛び込んでみませんか。



北の森漫画 あとがき

「北の森漫画」楽しんでいただけましたか？

森林にはこの本には描ききれない魅力が、まだまだたくさんつまっています。

ぜひご自分の目や耳や体で、森林を体験しに出かけてみてください。

そして皆さんが、日本の森林・林業・木材産業の応援団になっていただければ
心より嬉しく思います。



全ての漫画シリーズは、林野庁のHPから無料でご覧いただけます。

またご希望がありましたら、原画データの配布もしております。

教材やイベントの資料としてご活用ください。

→



漫画で学ぶ 森林・林業・木材産業の魅力

北の森漫画

令和2年3月発行

発行 林野庁 北海道森林管理局
〒064-8537 札幌市中央区宮の森3条7丁目70番
TEL 011-622-5213 (代表)

絵・編集 平田美紗子 (林野庁 北海道森林管理局職員)

印刷・製本 特定非営利活動法人 障がい者就労支援の会
あかり家

北海道森林管理局ホームページ
<http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>



本書の無断複写・複製・転載を禁じます。



国民の森林・国有林

発行 林野庁 北海道森林管理局

この冊子は日本人と木や森林のつながいを
より多くの方々にご紹介し、日本の森林・林業の
応援団になっていただくため作成しました。
楽しんでご覧いただけましたら幸いです。